

岬の立ち寄りスポット



津嶋神社

半島の付け根部に、沖にある小さな島に歩いて渡る神社がある。全国でも珍しい子どもの守護神として江戸時代から信仰が厚い津嶋神社だ。ただし渡れるのは8月の夏季大祭の2日間だけ。その日は全国から子ども連れの参拝者が訪れる。

〒三豊市三野町大見甲  
☎0875-56-5880(三豊市観光協会)



紫雲出山(しうでやま)遺跡館

弥生時代のもとのとされる高地性集落の遺跡がある。竪穴式住居や高床式倉庫を復元するほか、発掘された土器、石器など展示して興味深い。喫茶コーナーもある。

〒三豊市詫間町大浜乙451-1  
☎0875-84-7896

岬でひと風呂♨



道の駅「ふれあいパークみの」  
天然いやだに温泉大師の湯

物産館や公園なども併設した道の駅の中心施設が「いやだに温泉」だ。三豊平野から讃岐山脈まで一望できる露天岩風呂(※女湯)など多彩な風呂に、サウナや温泉プールもある天然温泉施設で、ドライブ疲れは一気に解消できる。食事や宿泊にも利用できる。

〒三豊市三野町大見乙74 ☎0875-72-2601

お土産 & 小腹グルメ



幸せ運ぶお菓子をおすそ分け。コロコロと小さな七色の玉が可愛い「おいり」は、西讃地方では婚礼時の定番菓子。口に入れたとたん、ふわりとろける繊細な口どけが楽しい。幸せのおすそ分けができる。

山下おいり本舗  
〒三豊市高瀬町新名1018-20  
☎0875-72-5438

B級グルメのキング、たこ判。

「もっと大きなたこ焼きが食べたい!」と地元の学生たちのリクエストから、たこ焼と大判焼きがコラボして生まれた。目玉焼きもサンドして、ボリュームも満点。1個100円台の安さもうれしい。

元祖たこ判 小前  
〒三豊市仁尾町仁尾幸33-9  
☎0875-82-3189



詫間港、須田港と漁港を眺めながら東側の道をいこう。まず山道へ入ったフラワーパーク浦島でクルマを止めたい。穏やかに広がる海をバックに初夏ならマーガレット、秋ならコスモスが一面に咲き誇る。



ぐるり半島を周遊しよう。西の燈灘(ひうちなだ)、東の備讃瀬戸(びざんせと)。ふたつの海を分ける庄内半島は、走るうちにいろいろな表情の風景に会える魅力あるドライブコースだ。

岬の灯台にはクルマではいけない。室浜(むろはま)や仁老浜(にらほま)から歩くことになる。ここからは、半島の西側へ、紫雲出山(しうでやま)を目指してハンドルを切ろう。駐車場からは山頂展望台への道をもうひとつふんばり。春には満開の桜が、初夏には色鮮やかなアジサイが出迎えてくれる。展望台からは、太陽の光を浴びて輝く瀬戸、夕日を受けてロマンチックに染まる瀬



戸、時間ごとに異なる感動ビューと対面。喫茶で一息ついたら隣の紫雲出山遺跡館も訪ねてみよう。浦島伝説が残る道を守る。海岸線と寄り添うように走る西側の道は、いろいろな小島が次々に現れる。そのひとつが鴨之越(かもこのし)から見える丸山島だ。ここには浦島太郎を祀る浦島神社がある。目を凝らせば、島の先にある太郎の像がわかる。庄内半島のクルマ旅。竜宮城を訪れた太郎のように、ここを走った人にしか分からない感動の玉手箱を持ち帰れることだろう。



地名に浦島伝説の名残!

市街地から岬に向かう橋で、亀にまたがった太郎が出迎える庄内半島。「箱(はこ)」「積(つむ)」に「紫雲出山(しうでやま)」など、ちょっと変わった地名が多い。浦島伝説の名残だ。箱は玉手箱を開けた場所、積は太郎が竜宮城から宝を持って着いたところ、紫雲出山は玉手箱から立ち上った白い煙が紫色の雲になってたなびいた山とか。そして太郎が亀を助けたという鴨之越対岸の丸山島にあるのが浦島神社だ。



浦島太郎が残したお宝スポットを訪ねよう。

瀬戸大橋の香川県側の起点・坂出から西へ向かう。この辺りは金刀比羅宮や四国八十八カ所の名刹、善通寺や観音寺など見どころが目白押しだ。庄内半島は多島美に魅せられる絶景の宝庫。ここに残る浦島伝説も楽しみながら、ゆっくり走ろう。



半島の東側と西側では景観がガラリ変わる。ともに海を間近に感じられて、爽快だ。

浦島伝説と多島美の岬。

庄内半島

未知であらう道さかいこう

香川県  
三豊市

●大阪/神戸方面から「神戸淡路鳴門自動車道」利用、243.0km / 211.5km  
●広島/岡山方面から「瀬戸中央自動車道」利用、220.9km / 87.9km  
※出発地中心部から灯台周辺までの距離

📍=ビューポイント 🚣=釣りポイント 🍽️=食事・お土産・休憩所 ♨️=温泉

●写真提供/三豊市観光協会

# 荘内半島のおひざ元のまちを、お遍路さん気分で歩こう。

岬に向かう道でも白装束に出会うことが多い。総本山善通寺を筆頭に曼荼羅寺(まんだらじ)、出釈迦寺(しゅっしゃかじ)に観音寺など、まさにこの辺りはお遍路さんの地だ。クルマを止めて歩こう。



六十九番札所

観音寺

1寺2霊場の札所へ。

琴弾の浜から

奈良時代に日証上人(にっしょうしょうにん)が琴弾宮(ことびきぐう)の別当として開山した名刹だ。その後、弘法大師がここに観世音菩薩を安置し、七堂伽藍を建てて観音寺と名を変えた。神仏分離で琴弾八幡宮から別となった六十八番の神恵院と一か所になったため、四国唯一の1寺2霊場になった。そんな古刹に見守られた市街地は、のどかな時間が流れる。

●観音寺市八幡町1-2-7 ☎0875-25-3871(観音寺)・0875-24-2150(観音寺市観光協会)  
ドライブデータ ●三豊鳥坂から13.1km



観音寺のまち並みも情緒たっぷりだ。



七十五番札所総本山

善通寺

弘法大師誕生の地で、  
しあわせ祈願。

創建は大同2(807)年。真言宗善通寺派の総本山、善通寺は唐から帰国した空海が長安の清龍寺をお手本に建立した名刹だ。その善通寺を中心にまちが広がる。かつて明治時代の富国強兵策で陸軍の師団が置かれ、軍人・乃木(のぎ)大将も足跡を残した。明治ロマンが香るノスタルジックな洋風建築も訪ねてみよう。

●善通寺市善通寺町3-3-1 ☎0877-62-0111(善通寺)・0877-63-6315(善通寺市観光協会)  
ドライブデータ ●三豊鳥坂から7.2km



南大門を入ってすぐの五重塔は、善通寺のシンボル。



**琴弾公園**  
白砂青松の有明浜に接し、約48ヘクタールの広さを持つ名勝地。園内には多彩な名所、旧跡が点在し、ゆっくり散策できる。  
☎0875-25-3828



**琴弾八幡宮**  
琴弾公園入口にある。本殿は大鳥居から381段の石段を上ったところにある。  
☎0875-25-3828



**世界のコイン館**  
日本と世界の貨幣や硬貨が集まるミュージアム。珍しいコイン、古銭も展示。  
☎0875-23-0055



**琴弾廻廊(ことびきかいろ)**  
琴弾浜を望み、6つの野天風呂、2つの内湯を巡る開放感いっぱいの人気温泉。  
☎0875-24-4567



**善通寺市観光交流センター**  
善通寺の観光情報ならここで。お遍路さんとの交流拠点にもなっている。  
☎0877-64-1250



**旧善通寺偕行社(かいこうしゃ)**  
旧陸軍将校の社交施設だった。ルネサンス様式の館内にはカフェもある。  
☎0877-63-6362



**乃木館[陸上自衛隊善通寺駐屯地資料館]**  
威厳に満ちた明治の名建築。「乃木記念館」も見学できる(要予約)。  
☎0877-62-2311(駐屯地広報班)



**兵器庫跡**  
明治時代の雰囲気漂わせる赤レンガの倉庫群は、旧陸軍の兵器庫跡。現在は自衛隊の施設として活用されている。

まち中には、こんなアーケードもある。

## クローズアップ 銭型砂絵

琴弾浜に描かれた巨大な寛永通宝(かんえいいつうほう)の砂絵は、観音寺のランドマークだ。琴弾公園からすぐの象ヶ鼻(ぞうがはな)展望台から見れば、青々とした瀬戸内と美しいコントラストで浮かび上がる。東西122メートル、南北90メートル、周囲345メートルもある。一説には、寛永10(1633)年に造られたものとか。この銭型を見れば、健康で長生きできる、おカネに不自由なく暮らせるとされているから、しっかり見ておきたい。夜になればライトアップされ、がぜん幻想的だ。



## 観音寺のお土産

ご利益に期待を込め、おちやめなグッズをチョイス。

旅の記念にも遊びどころを効かせたい。寛永通宝のペーパーウェイトや小判など、おカネに不自由しないといわれる銭型砂絵を見た後なら、こんなアイテムもおもしろい。



## 善通寺のお土産

弘法さんにちなんだもの人気の定番。

上質の黄味あんを使った控えめな甘さが人気の灸まんは、こもりお灸のカチカチをした懐かしの伝統菓子。ほかにもお守りや弘法大師にちなんだもの的人气が根強い。

